

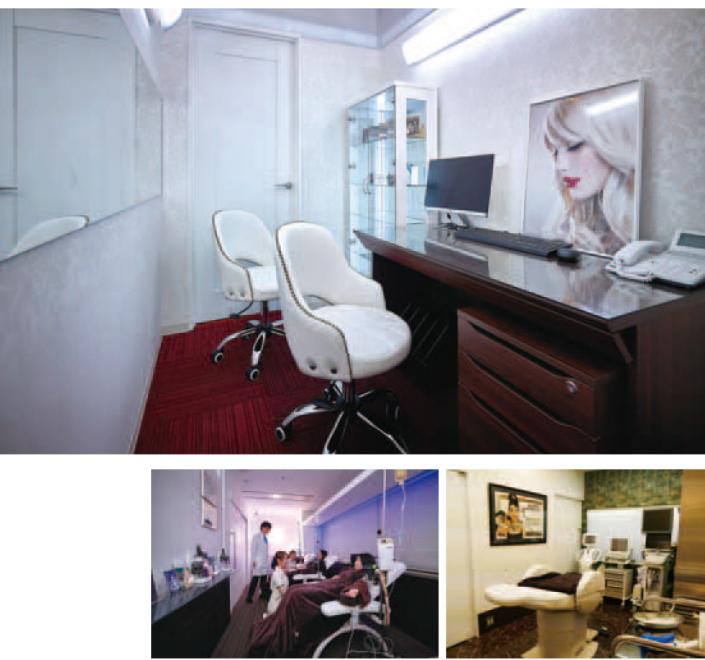
# より豊かな社会生活を送っていただくため アンチエイジングの可能性を追求する



藤井靖成氏が追い求めるのは「より若々しく、はつらつと生きることをサポートする美容医療」。侵襲を伴う手術によって外形を美しくするのではなく、老化する細胞への総合的なアプローチにこだわる同氏の思いと、クリニックの新たな展開について伺った。

FUJII CLINIC

## 藤井クリニック



院内は“患者様が喜んで来ていただける雰囲気”をコンセプトにデザインされている。

### 主な施術内容

- 美白：フォトフェイシャル、レーザートーニング等
- たるみ：ラジオ波（サーマクール等）、HIFU（ウルセラ等）
- 小じわ：ボトックス注入、フラクショナル等
- ボリュームロス：ヒアルロン酸注入等
- 痩身：クールスカルプティング、BNLS等
- その他、高濃度ビタミンC、プラセンタ、インディバ等、幅広い施術を行う。

### 研修スケジュール例

- 入職後
- 1ヶ月：外来診察(基本)を習得  
院長の診察を学びながらリピーターの経過観察の勉強から始め、シミ・しわ・たるみの相談の患者対応を学ぶ。
  - 2ヶ月：レーザー治療(初級・中級)手技習得  
レーザー治療の手技やサーマクール、ウルセラを初め、HIFU等の機器治療の手技習得。クールスカルプティングの瘦身治療の習得。
  - 3ヶ月：ボトックス手技、ヒアルロン酸(基本)手技習得  
院長のボトックス治療・ヒアルロン酸治療を見学の上、実技の習得。
  - 6ヶ月：ヒアルロン酸(中級)手技習得  
基本に加えて、細やかな手技テクニックの向上に努める。

### 患者の幸せな社会生活に貢献し 「感謝される喜び」を得てほしい

神経バランスの治療等をバランス良く組み合わせた美容医療。また、「美容とは、人がずっと若々しく生きていくことのサポート」という考え方から、5年、10年といった長い目で問題点を見通し、長期的・継続的にサポートし続ける、程良い無理のない診療を目指す。そのため患者からの信頼も築く、開院以来の付き合いといった、長期にわたって来院する患者も数多い。

上級とステップを踏んで藤井氏から直接学べるため、美容未経験の医師も安心だ。 「いきなり、12段の跳び箱を跳べ」といふようなことはいません。徐々にステップアップできるよう、研修スケジュールに沿って直接ご指導します。当クリニックは関西圏でも屈指のヒアルロン酸やボトックス治療の症例数があり、学ぶための良い環境があります」

藤井氏が診療で最も大切にする「患者

20年ほど前、勤務医だった藤井氏は「医師の役割を突き詰めれば、どこまで患者様に貢献できるのか」ということになる。自分は医師として患者様に貢献できているのかと疑問を持ちました」という。

「患者様の病気を治せば、寿命は延びるかもしれません、それだけで良いのでしょうか。長生きしても病院で寝たきりだったら、病気は治っても家中から出なくなったりするよりも、元気に生き生きと日々活動できることが良いに決まります。ですから人が生きていく上で一番に求めるのは、『いくつになってしまふか』ということ。若々しさは自信となり、その方の社会生活をより豊かにすることができる。ですから私はアンチエイジングを追求することで、患者様に貢献したいと思うようになりました」

しかし、保険診療ではアンチエイジングの追求は望めない。大学に講座はなく、大学病院での診療も難しい。アンチエイジングを臨床で患者に提供しつつ進化させ、質を高めていくためには、自分のクリニックを持つことが必要だった。

「当時の美容領域では、侵襲的な手術ではなく、肌を診て細胞を治療することが可能になる兆しがあり、私はそれが普通になる時代が来る」と確信していました。

同クリニックの患者は女性限定で、20代半ばから50代が大半を占める。中には80代の方もいるという。

「人が本当に美容医療を必要とするのは、30歳を超えてから。30歳以降は全身の細胞が老化し始めており、手術で外側を整えただけでは問題の解決はできません。体の表面である皮膚と内側とを関連づけて診て、免疫力を高め、自律神経を活性化し、ホルモンバランスを整えることが必要です。私は体内に取り入れる栄養や、肌細胞に直接に働きかける治療を組み合わせ、自然な肌の艶や張り感による美しさを引き出すことにこだわっています」

同クリニックが提供するのは、シミ・くすみ・たるみ・しわのケア、顔のボリュームダウンの改善、痩身、血流・ホルモン・

結果ではなく、ある程度経年変化を追った結果の蓄積もできました。それら私が得たものを意欲ある医師に伝え、さらに多くの方々にアンチエイジングの施術を提供したいのです。大阪を中心とした関西圏での分院開院も考えていますので、勉強熱心な医師に経験を積んでいただければ、分院長をお任せしたいと思います」

美容独自の技術については、初級・中級・上級とステップを踏んで藤井氏から直接学べるため、美容未経験の医師も安心だ。 「美容医療では、自分の診療によつて患者様が自信を持ち、生き生きとより良い社会生活を送ることに貢献できます。『きれいになつた』だけではなく、『会社が成長した』、『人と会うのが嬉しくなつた』と涙を流す方もいらっしゃいます。美容は自分の誠心誠意が伝わり、患者様に感謝され頼っていた大切なことは、医師としてのやりがい・生きがい、そして自分の存在意義にも繋がることだと思います」



院長  
**藤井 靖成氏**

◎1994年／和歌山県立医科大学卒。和歌山県立医科大学附属病院 第二内科学教室入局、日本赤十字社和歌山医療センター 麻酔科、国保日高総合病院（現ひだか総合病院）内視鏡室 室長、大手美容外科勤務。亀田総合病院 研修、東京大学医学部附属病院 研修等 ◎2007年／藤井クリニック開院・院長就任

◎2011年／藤井クリニック大阪駅前開院  
■資格等：日本内科学会 認定医・専門医、日本消化器病学会 専門医、日本消化器内視鏡学会 専門医、日本肝臓学会 専門医、日本内科学会 総合内科専門医、日本消化器がん検診学会 会員、日本超音波医学会 会員、日本美容外科学会 会員、日本美容外科医師会 会員、日本美容皮膚科学会 会員、日本抗加齢医学会 会員、日本抗加齢美容医療学会 会員、日本レーザー医学会 会員

また、医師がアンチエイジングを学びたいと思った時に、期待に応えられる施設を作つておきたかった。そこで2007年に当クリニックを開院しました。医師たちが来日した際に直接指導を受けなど、技術の向上を図つてきました。そして藤井氏は、「クリニックで提供する医療は世界的水準に達していないければならない」と考え、美容先進国の高名な医師たちが来日した際に直接指導を受けたなどの、技術の向上を図つてきました。藤井氏は、当クリニックの診療は世界レベルの水準に達していると自信し、交流していただけたのは、非常にありがたいこと。おかげさまで当クリニックの診療は世界レベルを保つていています」という自負があります。

「私の考えに共感し、交流していただけたのは、非常にありがたいこと。おかげさまで当クリニックの診療は世界レベルの水準に達していると自信していただけたのは、非常にありがたいこと。おかげさまで当クリニックの診療は世界レベルを保つていています」という自負があります。